

採択理由

プログラム名：国際共同研究の推進
課題名：熱帯多雨林における集約的森林管理と森林資源の高度利用による持続的利用パラダイムの創出
提案機関名：京都大学

コメント

本提案は、インドネシアの低地熱帯多雨林を対象として、REDD+（森林消失の抑止及び炭素排出量削減等）に結びつく新しい天然林保全のパラダイムを創出しようとする取組である。熱帯多雨林の保全は、全地球的な課題であり、本計画の推進は世界規模での貢献につながり、インドネシアにおいて成功すれば、他国への波及が期待できる。また、森林資源管理に基づく地域経済振興にも期待が持たれる。さらに、京都大学とボゴール農科大学及びインドネシア科学院と着実な協力関係が築かれていることから、将来的に、政府間の協力関係への展開も期待される。

なお、本提案は、リモートセンシングによるモニタリング等の4つのサブテーマが推進される計画となっているが、これらテーマをより有機的に結びつけ、目標とするパラダイム創出への道筋を明瞭に示しつつ課題を推進することが望まれる。